News Release

2026 年 11 月 12 日
ヤンマーホールディングス株式会社

ヤンマーグループが「CES 2027」に初出展



＜「CES 2027」ヤンマーブースイメージ＞

ヤンマーホールディングス株式会社は、2027 年 1 月 6 日（水）から 9 日（土）まで米国ネバダ州ラスベガスで開催される世界最大級のテクノロジーイベント「CES 2027」に初出展します。

「From Possibility to Reality and Beyond」をテーマに、農業・食料生産を支える「LAND」、船舶や海洋環境に関わる「SEA」、エネルギー利用や街づくりを支える「CITY」の各領域で培ってきた知見と技術を生かし、人々の営みの現場における課題を解決するソリューションを紹介します。

■出展の背景・目的

今回の出展では、ヤンマーがパーパスとして掲げる「A SUSTAINABLE FUTURE －テクノロジーで、新しい豊かさへ。－」のもと、人と自然が共生する社会の実現に向けたヤンマーの技術やソリューションをグローバルに発信します。

ヤンマーは 1912 年の創業以来、LAND・SEA・CITY の各領域において、一次産業を中心に、人々の暮らしや産業を支える事業を展開しています。100 年以上にわたり、各領域で働く人々に寄り添い、課題やニーズを深く理解する「現場知」と、さまざまな課題解決の技術をそれぞれの環境に適応させる「現場実装力」を培ってきました。

近年、AI や自動化技術の活用が進む中、食料生産や海洋・水産、エネルギー供給などの分野でも、各国・地域のコミュニティが抱える課題への対応が求められています。ヤンマーは、これまで培ってきた現場知と AI

やロボティクスなどの先進技術を組み合わせ、作業の効率化や廃棄物の削減、CO_2 排出量削減などを実現し、人々の営みが持続し成長する「学習する現場づくり」を目指しています。

CES では、人と自然が共生するより豊かな暮らしに貢献するヤンマーの取り組みを紹介し、実現に向けた可能性を広く共有します。ヤンマーの強みである現場知や現場実装力と共創パートナーの技術・専門性を組み合わせ、長期的な視点で課題解決につなげていきます。



■展示の見どころ

「LAND」、「SEA」、「CITY」の各領域における課題解決に向けたソリューションを提案します。自律走行作業ロボットや船底洗浄 ROV、建設機械などの製品展示に加え、自然条件や作業環境に合わせた技術の実装、データを活用した運用改善、資源循環などの取り組みを紹介します。

① 【LAND】農業から食品産業まで、データでつなぐ新たな価値

ヤンマーが目指すのは、農作業の生産性向上だけでなく、食料の**生産・加工・流通・販売をデータでつなぎ、フードバリューチェーン全体を最適化すること**です。現場から得られるデータを活用し、より良い意思決定と新たな価値の創出につなげます。

LAND エリアでは、沖縄やタイのサトウキビ産業で展開するデータソリューションを紹介します。本取り組みは、生産者や収穫請負業者、加工工場を、農業機械の位置情報などのリアルタイムデータでつなぎ、収穫から加工までのサプライチェーン全体を最適化します。

会場では、ブドウ畑向けに設計された自律走行作業ロボット「YV01」を展示します。2026 年モデルは、作業モジュールを交換することで、農薬散布や草刈り・除草などの複数の作業に対応する多目的プラットフォームへと進化。作業者の負担や農薬への曝露（ばくろ）を軽減します。

将来的にはさまざまな機械の作業データを活用して作物の品質向上や収穫の最適化などを実現し、地域ごとの持続可能な食料生産に貢献します。


＜自律走行作業ロボット「YV01」＞

関連情報：

ヤンマーの無人農薬自動散布ロボットでブドウ畑での仕事をより安全で持続可能なものに｜Y media

② 【SEA】AIとデータで進化する、持続可能な海洋ソリューション

ヤンマーが目指すのは、海洋分野における安全作業、コスト管理、環境負荷の軽減など、さまざまな課題を解決し、**より安全で持続可能な海の営みを実現すること**です。船舶用エンジンなどのマリン事業や養殖事業などの現場で培った技術とデータを活用し、持続可能な海洋資源と食料生産の可能性を広げていきます。



＜船底洗浄 ROV「HC12」＞

SEA エリアで展示する、高圧水で大型船舶の船底に付着した生物などを除去する ROV※「HC12」は、水中3D センシングとロボティクスの技術により、潜水士の作業負担軽減と、船底への付着物による燃費悪化の抑制、海洋環境への配慮を実現します。

また、これまでヤンマーが培った養殖関連技術に加え、データによる制御を軸とした次世代の養殖ソリューションの展開を本格化させています。

※ ROV Remotely Operated Vehicle（遠隔操作型無人潜水機）

船底洗浄 ROV「HC12」が「CES Innovation Awards® 2027」の「Honoree」を受賞

船底洗浄 ROV「HC12」は、「CES Innovation Awards® 2027」の「Energy Transition & Sustainability」カテゴリーで「Honoree」に選出されました。「CES Innovation Awards®」は CES を主催する Consumer Technology Association（CTA）が、優れたデザインとエンジニアリングを備えたテクノロジーを表彰する制度です。

関連情報：

ヤンマーブルーテック株式会社

CES Innovation Awards HC12

③ 【CITY】最適なエネルギー利用と街づくりを支える“原動力”

ヤンマーが目指すのは、水素などの代替燃料や再生可能エネルギーを含む**多様なエネルギーをデータでつなぎ、地域全体のエネルギー需給を最適化すること**です。エネルギーを必要な場所へ効率的かつ安定的に届け、将来的にはサービスとして新たな価値を提供していきます。また、人々が安心して生活できる街づくりの現場でも建設機械や非常用発電機などヤンマーの技術が貢献しています。

CITY エリアでは、水素発電機やコージェネレーションシステムなどのエネルギーシステムを組み合わせ、コミュニティ単位でエネルギーを自動制御することで電力や熱を無駄なく活用するエネルギーソリューションを紹介します。

また、今回展示するミニショベル「ViO35-7」は、住宅地などの狭小地でも安全な作業を実現する現場ソリューションのひとつです。水平整地などの経験の浅いオペレーターにとって困難な作業も、熟練の技能を機器に組み込むことで操作をアシストできる機能・機器の開発も進めています。

関連情報：建設機械 | ヤンマー

エネルギー | ヤンマー



＜ミニショベル「ViO35-7」（実機展示）＞



＜熱電併給ユニットイメージ＞

■ヤンマーホールディングス株式会社　取締役　マーケティング・事業開発担当　山本多絵子のコメント

「ヤンマーは 1912 年の創業以来、大地・海・都市の現場でお客様とともに課題に向き合ってきました。AI が現実世界で動き始めた今、求められているのは、現場を深く知り、技術を現場に根付かせる力です。初出展となる CES では、その"現場知"と"実装力"を LAND・SEA・CITY のソリューションとしてお見せします。志を共にするパートナーや挑戦者の皆さんと出会い、持続可能な未来をともに花咲かせたいと考えています。」

■「CES2027」出展概要

会期：2027 年 1 月 6 日（水）～9 日（土）

場所：ラスベガスコンベンションセンター（LVCC）（米国ネバダ州ラスベガス）

ブース：West Hall, Booth 7001

出展テーマ：「From Possibility to Reality and Beyond」

CES 公式サイト：https://www.ces.tech/

ヤンマーCES2027 特設サイト（英語）：https://www.yanmar.com/global/ces2027/

＜ヤンマーについて＞

1912 年に大阪で創業したヤンマーは、1933 年に世界で初めてディーゼルエンジンの小型実用化に成功した産業機械メーカーです。大地・海・都市のフィールドで、エンジンなどのパワートレインを軸に、アグリ・建機・マリン・エネルギーシステムなどの事業をグローバルに展開し、顧客価値を創造するソリューションを提供しています。創業以来受け継ぐ、人と未来の可能性を信じ挑戦を後押しする「HANASAKA」の精神を原動力に、「A SUSTAINABLE FUTURE　ーテクノロジーで、新しい豊かさへ。ー」の実現を目指します。

＜注記＞記載内容は発表時点のものです。最新の情報とは内容が異なっている場合がありますのでご了承願います。

【報道関係者お問い合わせ先】

ヤンマーホールディングス株式会社

マーケティング部　コーポレートコミュニケーション部

E-mail：koho@yanmar.com